

社会情報学科専門科目（平成27年度入学生用）

	科目 コード	科目名	単位	時数	学年	開講	担当教員	摘要	開放
基礎科目		行動科学概論	②	30	1	前期	亀ヶ谷雅彦		教養
		情報社会論	②	30	1	後期	嶋崎 伸一		教養
		インターネット演習	②	30	1	前期	伊豆田義人		
		統計学入門	②	30	1	前期	鈴木 久美		教養
人間社会と心理		社会学	2	30	1	前期	嶋崎 伸一	日本史と合同	教養
	40120	社会ネットワーク論	2	30	2	後期	中川 恵		教養
	40130	情報産業論	2	30	2	前期	中川 恵	「地域社会学」で読み替え	教養
	40140	社会調査演習	2	30	2	後期	中川 恵		
	40150	環境社会学	2	30	1・2	前期	大井 慈郎		教養
	40160	社会と図書館	2	30	1・2	前期		本年度開講せず	
		社会心理学	2	30	1	前期	亀ヶ谷雅彦		教養
		集合行動論	2	30	1	後期	亀ヶ谷雅彦		教養
	40190	社会心理学演習	2	30	2	前期	亀ヶ谷雅彦		教養
	40200	政治心理学	2	30	1・2	後期	亀ヶ谷雅彦	[日]は専門単位[国・英]は教養単位	教養
40210	認知心理学	2	30	2	後期	清水 浩			
経済と経営分析	40310	経済学入門	2	30	1・2	前期	鈴木 久美	[日]は専門単位[国・英]は教養単位	教養
	40320	ファイナンス論	2	30	1・2	後期	鈴木 久美		教養
	40330	ファイナンス演習	2	30	2	前期	鈴木 久美		
	40340	簿記会計演習	4	60	1・2	前期	平野 智久	連続2時限の受講をもって1回の授業となる	
	40350	電子商取引概論	2	30	1・2	前期	董 彦文		
	40360	情報セキュリティ論	2	30	1・2	後期	董 彦文		
		経営学入門	2	30	1	前期	松下 幸生		教養
	40380	経営情報論	2	30	2	後期	松下 幸生		
		意思決定論	2	30	1	後期	松下 幸生		
40400	経営情報演習	2	30	2	前期	松下 幸生			
メディア表現と情報	40510	情報メディア論	2	30	1・2	前期	小池 隆太		教養
		メディア表現法	2	30	1	後期	小池 隆太		教養
	40530	コミュニケーションデザイン論	2	30	1・2	後期	小池 隆太		教養
	40540	メディア制作演習	2	30	2	前期	小池 隆太		
	40550	メディアリテラシー	2	30	1・2	後期	亀ヶ谷雅彦		教養
	40560	グラフィックス演習	2	30	1・2	前期	伊豆田義人		
	40570	グラフィックスデザイン演習	2	30	1・2	後期	伊豆田義人		
	40580	ウェブデザイン演習	2	30	1・2	後期	伊豆田義人		
		データベース概論	2	30	1	後期	西川 友子		
	40610	プログラミング演習	4	60	2	前期	西川 友子	連続2時限の受講をもって1回の授業となる	
	IT概論	2	30	1	後期	西川 友子			
基礎ゼミ		基礎ゼミ一	2	30	1	後期	嶋崎 伸一		
		基礎ゼミ二	2	30	1	後期	亀ヶ谷雅彦		
		基礎ゼミ三	2	30	1	後期	松下 幸生		
		基礎ゼミ四	2	30	1	後期	鈴木 久美		
		基礎ゼミ五	2	30	1	後期	小池 隆太		
		基礎ゼミ六	2	30	1	後期	伊豆田義人		教養
		基礎ゼミ七	2	30	1	後期	西川 友子		
専門ゼミ	40810	専門ゼミ一	4	60	2	通年	中川 恵		
	40820	専門ゼミ二	4	60	2	通年	亀ヶ谷雅彦		
	40830	専門ゼミ三	4	60	2	通年	松下 幸生		
	40840	専門ゼミ四	4	60	2	通年	鈴木 久美		
	40850	専門ゼミ五	4	60	2	通年	小池 隆太		
	40860	専門ゼミ六	4	60	2	通年	伊豆田義人		
	40870	専門ゼミ七	4	60	2	通年	西川 友子		
	40880	専門ゼミ八	4	60	2	通年		本年度開講せず	
	40890	専門ゼミ九	4	60	2	通年	清水 浩		
	40900	専門ゼミ十	4	60	2	通年	比留間浩介		
40910	卒業研究	②		2					

(注) ○数字は必修単位、)○数字は選択必修単位

社会情報学科専門科目（平成28年度入学生用）

	科目 コード	科目名	単位	時数	学年	開講	担当教員	概要	開放
基礎 科目	40010	行動科学概論	②	30	1	前期	亀ヶ谷雅彦		教養
	40020	情報社会論	②	30	1	後期	中川 恵		教養
	40030	インターネット演習	②	30	1	前期	伊豆田義人		
	40040	統計学入門	②	30	1	後期	鈴木 久美		教養
人間 社会と 心理	40110	社会学	2	30	1	前期	中川 恵	日本史と合同	教養
		社会ネットワーク論	2	30	2	後期	中川 恵		教養
	40135	地域社会学	2	30	2	前期	中川 恵	開講せず	教養
		社会調査演習	2	30	2	後期	中川 恵		教養
	40150	環境社会学	2	30	1・2	前期	大井 慈郎		教養
	40160	社会と図書館	2	30	1・2	前期			
	40170	社会心理学	2	30	1	前期	亀ヶ谷雅彦		教養
	40180	集合行動論	2	30	1	後期	亀ヶ谷雅彦		教養
		社会心理学演習	2	30	2	前期	亀ヶ谷雅彦		教養
	40200	政治心理学	2	30	1・2	後期	亀ヶ谷雅彦	[日]は専門単位[国・英]は教養単位	教養
	認知心理学	2	30	2	後期	清水 浩			
経済 と経営 分析	40310	経済学入門	2	30	1・2	前期	鈴木 久美	[日]は専門単位[国・英]は教養単位	教養
	40320	ファイナンス論	2	30	1・2	後期	鈴木 久美		教養
		ファイナンス演習	2	30	2	前期	鈴木 久美		
	40340	簿記会計演習	4	60	1・2	前期	平野 智久	連続2時間の受講をもって1回の授業となる	
	40350	電子商取引概論	2	30	1・2	前期	董 彦文		
	40360	情報セキュリティ論	2	30	1・2	後期	董 彦文		
	40370	経営学入門	2	30	1	前期	松下 幸生		教養
		経営情報論	2	30	2	後期	松下 幸生		
	40390	意思決定論	2	30	1	後期	松下 幸生		
	経営情報演習	2	30	2	前期	松下 幸生			
メ デ ィ ア 表 現 と 情 報	40510	情報メディア論	2	30	1・2	前期	小池 隆太		教養
	40520	メディア表現法	2	30	1	後期	小池 隆太		教養
	40530	コミュニケーションデザイン論	2	30	1・2	後期	小池 隆太		教養
		メディア制作演習	2	30	2	前期	小池 隆太		
	40550	メディアリテラシー	2	30	1・2	後期	亀ヶ谷雅彦		教養
	40560	グラフィックス演習	2	30	1・2	前期	伊豆田義人		
	40570	グラフィックスデザイン演習	2	30	1・2	後期	伊豆田義人		
	40580	ウェブデザイン演習	2	30	1・2	後期	伊豆田義人		
	40590	データベース概論	2	30	1	後期	西川 友子		
	40620	I T概論	2	30	1	後期	西川 友子		
		プログラミング演習1	2	30	2	前期	西川 友子	本年度開講せず	
	プログラミング演習2	2	30	2	前期	西川 友子	本年度開講せず		
基 礎 ゼ ミ	40710	基礎ゼミ一	2	30	1	後期	中川 恵		
	40720	基礎ゼミ二	2	30	1	後期	亀ヶ谷雅彦		
	40730	基礎ゼミ三	2	30	1	後期	松下 幸生		
	40740	基礎ゼミ四	2	30	1	後期	鈴木 久美		
	40750	基礎ゼミ五	2	30	1	後期	小池 隆太		
	40760	基礎ゼミ六	2	30	1	後期	伊豆田義人		教養
	40770	基礎ゼミ七	2	30	1	後期	西川 友子		
専 門 ゼ ミ		専門ゼミ一	4	60	2	通年	中川 恵		
		専門ゼミ二	4	60	2	通年	亀ヶ谷雅彦		
		専門ゼミ三	4	60	2	通年	松下 幸生		
		専門ゼミ四	4	60	2	通年	鈴木 久美		
		専門ゼミ五	4	60	2	通年	小池 隆太		
		専門ゼミ六	4	60	2	通年	伊豆田義人		
		専門ゼミ七	4	60	2	通年	西川 友子		
		専門ゼミ八	4	60	2	通年		本年度開講せず	
		専門ゼミ九	4	60	2	通年	清水 浩		
		専門ゼミ十	4	60	2	通年	比留間浩介		
	卒業研究	②		2					

(注) ○数字は必修単位、}○数字は選択必修単位

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
40010		行動科学概論	2	亀ヶ谷 雅彦	前期	教養
<p>【達成目標】 1. スタディスキル（大学での勉強の仕方）を身につける。 2. データを集め、仮説を立て、分析するといった社会科学の実証的研究法について理解する。</p> <p>【授業内容・方法】 大学での「勉強のやり方」と、社会科学系の卒業研究で使えるような「研究のやり方」について講義を行う。授業中に出す作業課題を通して、実践的に学んでほしい。</p> <p>【授業計画】 ①はじめに ②ノートをとろう ③行動科学とは何か ④条件付け ⑤文献を探そう ⑥速読して要約しよう ⑦レポートを書こう ⑧校正をしよう ⑨実証的研究法を知ろう ⑩アンケートを書こう ⑪実験をしよう ⑫～⑬研究計画を書こう ⑭～⑮発表しよう</p> <p>【テキスト】 レジュメをPDF形式で配布する。ダウンロード方法は授業開始時に教示する。</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 編入学先の大学や、卒業研究で実験やアンケート調査を行いたい人は、この授業以外に「統計学入門」や「社会調査演習」なども履修すると役立つと思います。</p> <p>【評価方法】 課題レポート（70%）、授業への参加度（30%）</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
40020		情報社会論	2	中川 恵	後期	教養
<p>【達成目標】 1. 情報社会論に関する専門知識を習得する。 2. 期末レポート（小論文）の執筆をつうじて関連する社会事象について考察を深める。</p> <p>【授業内容・方法】 ・食行動と情報化 ・多国籍アグリビジネスの課題と可能性 *内容は、受講生の関心等によって変更する場合がある</p> <p>【授業計画】 ①～②イントロダクション ③～⑪ 重要概念の解説、主要論文の読解・解説、グループ・ワークを通じた意見交換 ⑫～⑭個人レポート報告／添削 ⑮個人レポートの再提出</p> <p>【テキスト】 梶瀧俊子ほか編『食と農の社会学ー生命と地域の視点から』ミネルヴァ書房 3,024円（税別）</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 私たちは、インターネットやコンピュータを高次に活用する情報社会を生きています。 本科目では、とくに「農と食」に焦点を当てて現代社会のあり方について考えます。講義で学んだ情報社会における働き方について自分自身で考え、知人に意見を聞いてみるなど、主体的な参加を期待します。</p> <p>【評価方法】 毎授業内で提示する演習課題の提出（50%）、期末レポート（50%）によって評価する。</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放															
40030		インターネット演習	2	伊豆田 義人	前期																
<p>【達成目標】 目的は、(ア) ホームページの記述言語 html の基本を学習すること、(イ) Html によるホームページの作法を習得すること、(ウ) 実践的にウェブデザインの基本を理解すること、(エ) タイピング能力を上達させることです。</p> <p>【授業内容・方法】 授業でのタイピング訓練は最初の2回ほどのみで、それ以降は次回提出宿題の形でタイピングの達成を目指します。HTMLおよびCSSの学習においては、授業での解説ならびに実習課題のほか、理論・概念への理解を深めるための演習宿題が毎回あり、期末には自律的な問題解決能力の向上のための夏休み中に作成の制作プロジェクトがあります。</p> <p>【授業計画】</p> <table border="0"> <tr> <td>①ガイダンス。授業システムの解説</td> <td>②ブラインドタッチの基本</td> <td>③タイピングの訓練</td> </tr> <tr> <td>④ウェブページの仕組み</td> <td>⑤html5の基礎</td> <td>⑥html5の基本的なタグ</td> </tr> <tr> <td>⑦CSS3の基本的な事項</td> <td>⑧html5とcss3との関係</td> <td>⑨html5とcss3による制作</td> </tr> <tr> <td>⑩ウェブページの基本的な構造の作成</td> <td>⑪レイアウト作成の基本</td> <td>⑫様々なレイアウトの作成</td> </tr> <tr> <td>⑬様々なレイアウトの作成—その2</td> <td>⑭サイトのひな形の作成</td> <td>⑮期末課題の説明</td> </tr> </table> <p>【テキスト】 適宜プリントを配布します。</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 学習要領と課題の多い短時間の必須科目なので、履修科目の検討の際には、宿題の時間も考慮してください。</p> <p>【評価方法】 期末課題（40%）、定期課題（40%）、授業への参加度（20%）</p>							①ガイダンス。授業システムの解説	②ブラインドタッチの基本	③タイピングの訓練	④ウェブページの仕組み	⑤html5の基礎	⑥html5の基本的なタグ	⑦CSS3の基本的な事項	⑧html5とcss3との関係	⑨html5とcss3による制作	⑩ウェブページの基本的な構造の作成	⑪レイアウト作成の基本	⑫様々なレイアウトの作成	⑬様々なレイアウトの作成—その2	⑭サイトのひな形の作成	⑮期末課題の説明
①ガイダンス。授業システムの解説	②ブラインドタッチの基本	③タイピングの訓練																			
④ウェブページの仕組み	⑤html5の基礎	⑥html5の基本的なタグ																			
⑦CSS3の基本的な事項	⑧html5とcss3との関係	⑨html5とcss3による制作																			
⑩ウェブページの基本的な構造の作成	⑪レイアウト作成の基本	⑫様々なレイアウトの作成																			
⑬様々なレイアウトの作成—その2	⑭サイトのひな形の作成	⑮期末課題の説明																			

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放																
40040		統計学入門	2	鈴木 久美	後期	教養																
<p>【達成目標】 1. 日常的に触れるデータの特性を理解し、データから情報を読み取り判断できるようにする。 2. 簡単な統計分析ができるようにする。</p> <p>【授業内容・方法】 授業計画に挙げるトピックを講義し、取り扱ったトピックに関して、Excelを利用して学生が自分で分析に利用できるようにする。座学と実習の併用講義である。</p> <p>【授業計画】</p> <table border="0"> <tr> <td>①はじめに</td> <td>②ヒストグラム</td> <td>③分布の中心をあらわす尺度</td> <td>④分布の散らばりをあらわす尺度</td> </tr> <tr> <td>⑤正規分布(1)</td> <td>⑥正規分布(2)</td> <td>⑦母集団と標本</td> <td>⑧母分散が既知の場合の信頼区間</td> </tr> <tr> <td>⑨簿分散が未知の場合の信頼区間</td> <td>⑩検定概要</td> <td>⑪母分散が既知の場合の検定</td> <td>⑫母分散が未知の場合の検定</td> </tr> <tr> <td>⑬2つのグループの平均の差の検定</td> <td>⑭散布図と相関係数</td> <td>⑮データの利用</td> <td></td> </tr> </table> <p>【テキスト】 第一回の講義で指定する。</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 初回の授業には必ず出席してください。 限られた時間で多くのことを学ぶので復習が必須です。</p> <p>【評価方法】 期末試験（100%）</p>							①はじめに	②ヒストグラム	③分布の中心をあらわす尺度	④分布の散らばりをあらわす尺度	⑤正規分布(1)	⑥正規分布(2)	⑦母集団と標本	⑧母分散が既知の場合の信頼区間	⑨簿分散が未知の場合の信頼区間	⑩検定概要	⑪母分散が既知の場合の検定	⑫母分散が未知の場合の検定	⑬2つのグループの平均の差の検定	⑭散布図と相関係数	⑮データの利用	
①はじめに	②ヒストグラム	③分布の中心をあらわす尺度	④分布の散らばりをあらわす尺度																			
⑤正規分布(1)	⑥正規分布(2)	⑦母集団と標本	⑧母分散が既知の場合の信頼区間																			
⑨簿分散が未知の場合の信頼区間	⑩検定概要	⑪母分散が既知の場合の検定	⑫母分散が未知の場合の検定																			
⑬2つのグループの平均の差の検定	⑭散布図と相関係数	⑮データの利用																				

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
40110		社会学	2	中川 恵	前期	教養
<p>【達成目標】</p> <p>1. 社会学の専門知識を習得する。 2. 学術論文を読解する力を身につける。 3. 関連する社会課題・事象について関心を広げる力を伸長する。</p> <p>【授業内容・方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会集団の構造——イエの論理、ムラのしくみ ・環境——構築と抗争 ・国民国家と近代——歴史、記録 <p style="text-align: right;">*内容は、受講生の関心等によって変更する場合があります</p> <p>【授業計画】</p> <p>①～②イントロダクション ③～⑪ 重要概念の解説、主要論文の読解・解説、グループ・ワークを通じた意見交換 ⑫～⑭個人レポート報告/添削 ⑮個人レポートの再提出</p> <p>【テキスト】</p> <p>なし。参考文献は講義の中で適宜紹介する。</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】</p> <p>社会学は、私たちの生活および社会がどのようなルールのもとに営まれているかを明らかにし、より良いルールとは何かを模索する学問です。</p> <p>1. および 2. の目標については、毎時の演習課題によって評価します。論文読解については、論文構成を基礎から学びます。3. の課題については、期末レポートによって評価します。</p> <p>【評価方法】</p> <p>毎授業内で提示する演習課題の提出（70%）、期末レポート（30%）によって評価する。</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
40120		社会ネットワーク論	2	中川 恵	後期	教養
<p>【達成目標】</p> <p>1. 社会ネットワークに関連する社会学の専門知識を習得する。 2. レポートの執筆を行うじて関連する社会事象について考察を深める。</p> <p>【授業内容・方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会関係資本——地域の「絆」か「しがらみ」か？ ・エネルギー自給と地域——「置賜自給圏構想」にみる関係性の構造 ・大学と制度/政策——社会科学の社会的役割とは <p style="text-align: right;">*内容は、受講生の関心等によって変更する場合があります</p> <p>【授業計画】</p> <p>①～②イントロダクション ③～⑪ 重要概念の解説/主要論文の読解・解説/グループ・ワークを通じた意見交換 ⑫～⑭個人レポート報告/添削 ⑮個人レポートの再提出</p> <p>【テキスト】</p> <p>長谷川公一ほか著『社会学 Sociology: Modernity, Self and Reflexivity』有斐閣 3,780円（税別） 榊瀧俊子ほか編著『食と農の社会学——生命と地域の視点から』ミネルヴァ書房 3,024円（税別） 日本社会学会編『社会学評論』有斐閣 1,429円（税別）</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】</p> <p>受講生には、講義の中から課題を見つけ、個人レポートを執筆してもらいます。考察の成果は、個人レポートによって評価します。</p> <p>【評価方法】</p> <p>期末レポート（100%）</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
40135		地域社会学	2	中川 恵	前期	教養

【達成目標】

1. 地域社会学の専門知識を習得する。
2. 期末レポート（小論文）の執筆をつうじて関連する社会事象について考察を深める。

【授業内容・方法】

- ・ グローバリゼーションと国家——エスニシティとアイデンティティ
- ・ 農山漁村——「地方創生」？「地方消滅」？
- ・ 開発と廃棄

*内容は、受講生の関心等によって変更する場合がある

【授業計画】

- ①～②イントロダクション
- ③～⑪ 重要概念の解説／主要論文の読解・解説／グループ・ワークを通じた意見交換
- ⑫～⑭個人レポート報告／添削 ⑮個人レポートの再提出

【テキスト】

関礼子ほか著『環境の社会学』有斐閣 1,900円（税別）

【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】

私たちの生活は地域社会の中で営まれています。その意味で、地域社会が直面する変化や課題は私たちの生活と密接に関連しています。

本科目の受講を通じて、身近な地域についての関心を深めることを期待しています。

【評価方法】

毎授業内で提示する演習課題の提出（50%）、期末レポート（50%）によって評価する。

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
40140		社会調査演習	2	中川 恵	後期	

【達成目標】

1. 交流イベントへの参加をつうじて関連する社会事象について考察を深める。
2. 報告に向けた議論をつうじて課題を発見する能力を伸長する。

【授業内容・方法】

CSA 実証研究 農場・牧場等での産地交流イベントに参加し、現場の課題を考えよう

【授業計画】

- ①イントロダクション：本科目のねらいと方針
- ②③先行研究の解説／関係各所と日程等調整／役割分担
- ④～⑦交流イベントAに向けた事前・事後学習／参加振り返り 例) 放牧場見学、畑作業
- ⑧～⑪交流イベントBに向けた事前・事後学習／参加振り返り 例) 漁師による浜の料理教室
- ⑫～⑭期末レポートに向けた準備／考察の報告
- ⑮報告を経て、期末レポートの再提出

【テキスト】

松村和則ほか編『有機農業運動の地域的展開——山形県高島町の実践から』家の光協会 2,621円。
立川雅司ほか編『消費される農村ポスト——生産力主義下の「新たな農村問題」』農文協 5,452円。

【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】

イベントへ参加を伴うので授業計画はやや流動的です。授業参加をつうじてCSA事例の特徴と課題について考察を深め、議論したいと考えています。

【評価方法】

授業への参加度（70%）、期末レポート（30%）によって評価する。

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
40150		環境社会学	2	大井 慈郎	前期	教養

【達成目標】

1. 環境社会学の基礎的な知見を理解する。
2. 環境問題への自分なりの見解をもち、表現できるようになる。

【授業内容・方法】

この講義では、過去と現代、地域規模と地球規模、先進国と途上国、それぞれをめぐる環境問題の議論を紹介する。これらを通じて、環境問題を論じることの難しさとともに、論じていくことの必要性を考えてもらう。また、理解を深めるために、数度にわたり指定された写真を撮影して来てもらう課題を設け、写真とともに私たちを取り巻く現状を共有する。

【授業計画】

- | | | |
|-------------|------------|-----------|
| ①イントロダクション | ②地球環境問題Ⅰ | ③地球環境問題Ⅱ |
| ④環境問題の歴史Ⅰ | ⑤環境問題の歴史Ⅱ | ⑥環境問題の歴史Ⅲ |
| ⑦環境問題のメカニズム | ⑧環境政策の基礎理論 | ⑨途上国と環境 |
| ⑩エネルギー政策Ⅰ | ⑪エネルギー政策Ⅱ | ⑫風景と景観 |
| ⑬食と農Ⅰ | ⑭食と農Ⅱ | ⑮まとめ |

【テキスト】

指定テキストなし。参考文献等は適宜紹介する。

【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】

この講義は、誰にでも関係がある環境問題を扱うことから、受講生の積極的なコメントを期待する。そのために、毎授業後にコメントペーパーを書いてもらう。

【評価方法】

毎授業後のコメントペーパー（50%）、課題小レポート（50%）。

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
40170		社会心理学	2	亀ヶ谷 雅彦	前期	教養

【達成目標】

社会心理学の知見を用いて、社会や人間についての理解を深めることができる。

【授業内容・方法】

社会心理学で扱う内容のうち、社会的認知、対人関係、集団内行動といった、主に個人の内部や対人間で生じる現象に関するトピックを取り上げて講義する。「心理学的」社会心理学の側面が強い内容となっている。

【授業計画】

- | | | | |
|-------------------|-------------|-------|----------|
| ①はじめに | ②印象形成 | ③帰属 | ④推論と問題解決 |
| ⑤自己 | ⑥～⑦性格と社会的性格 | ⑧態度 | ⑨～⑩説得 |
| ⑪ノンバーバル・コミュニケーション | ⑫～⑬同調 | ⑭～⑮役割 | |

【テキスト】

レジュメをPDF形式で配布する。ダウンロード方法は授業開始時に教示する。

【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】

毎回、実験やアンケートを行って参加型の授業を目指します。後期の「集合行動論」も履修すると、社会心理学の全体像が見渡せると思います。

【評価方法】

課題レポート（70%）、授業への参加度（30%）

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放															
40180		集合行動論	2	亀ヶ谷 雅彦	後期	教養															
<p>【達成目標】 社会心理学の知見を用いて、社会や人間についての理解を深めることができる。</p> <p>【授業内容・方法】 社会心理学で扱う内容のうち、集団間行動、集合行動、文化といった、主に集団間や組織されない集団、社会で生じる現象に関するトピックを取り上げて講義する。「社会的」社会心理学の側面が強い内容となっている。</p> <p>【授業計画】</p> <table border="0"> <tr> <td>①はじめに</td> <td>②利他主義</td> <td>③リーダーシップと集団思考</td> </tr> <tr> <td>④～⑤映画「12人の優しい日本人」</td> <td>⑧交換理論</td> <td>⑥犯罪心理学とプロファイリング</td> </tr> <tr> <td>⑦集団間差別と偏見</td> <td>⑩流言とデマ</td> <td>⑨～⑩ゲーム理論と社会的ジレンマ</td> </tr> <tr> <td>⑪群集とパニック</td> <td>⑫異文化間コミュニケーション</td> <td>⑬世論とマスコミ</td> </tr> <tr> <td>⑭文化</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>【テキスト】 レジュメをPDF形式で配布する。ダウンロード方法は授業開始時に教示する。</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 毎回、実験やアンケートを行って参加型の授業を目指します。前期の「社会心理学」も履修すると、社会心理学の全体像が見渡せると思います。</p> <p>【評価方法】 課題レポート（70%）、授業への参加度（30%）</p>							①はじめに	②利他主義	③リーダーシップと集団思考	④～⑤映画「12人の優しい日本人」	⑧交換理論	⑥犯罪心理学とプロファイリング	⑦集団間差別と偏見	⑩流言とデマ	⑨～⑩ゲーム理論と社会的ジレンマ	⑪群集とパニック	⑫異文化間コミュニケーション	⑬世論とマスコミ	⑭文化		
①はじめに	②利他主義	③リーダーシップと集団思考																			
④～⑤映画「12人の優しい日本人」	⑧交換理論	⑥犯罪心理学とプロファイリング																			
⑦集団間差別と偏見	⑩流言とデマ	⑨～⑩ゲーム理論と社会的ジレンマ																			
⑪群集とパニック	⑫異文化間コミュニケーション	⑬世論とマスコミ																			
⑭文化																					

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
40190		社会心理学演習	2	亀ヶ谷 雅彦	前期	教養
<p>【達成目標】 カウンセリング体験を通して、自他理解を深めることができる。</p> <p>【授業内容・方法】 SGE（構成的グループエンカウンター）のエクササイズや教育ゲームなどを演習形式で行う。</p> <p>【授業計画】</p> <p>①～③SGEとは</p> <p>④～⑯SGE エクササイズ体験 （履修者は毎回エクササイズに参加するとともに、グループに分かれて、順番にリーダー役を担当する。リーダー役のグループは、担当する回に行うエクササイズ・教育ゲームを2つ程度選んで実施し、事後に「エクササイズ実施シート」を提出する）</p> <p>【テキスト】 必要に応じて教示する。</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 エクササイズへの参加を促すために毎回出席を取りますので、できるだけ休まないようにして下さい。就職活動や教育実習などで休む場合は事前に連絡して下さい。</p> <p>【評価方法】 授業への参加度（70%）、エクササイズ実施シート（30%）</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
40200		政治心理学	2	亀ヶ谷 雅彦	後期	教養
<p>【達成目標】 政治学や政治心理学の知見を用いて、政治現象についての理解を深めることができる。</p> <p>【授業内容・方法】 政治過程や政治現象の心理的側面に関するトピックを取り上げて講義する。ただし、政治学の初学者向けに、前半で政治学や政治過程論に関する内容を講義し、政治心理学に関する内容は後半で取り上げる。</p> <p>【授業計画】 ①はじめに ②～③民主主義の変遷 ④～⑤イデオロギー ⑥～⑦政党と政党支持 ⑧世界の選挙 ⑨～⑩選挙の理論 ⑪政治的社会化 ⑫政治的パーソナリティ ⑬～⑭政策決定ゲーム ⑮テロリズム</p> <p>【テキスト】 レジュメをPDF形式で配布する。ダウンロード方法は授業開始時に教示する。</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 履修する学生は、日々のニュースや新聞に気を配るようにして下さい。また、「社会心理学」「集合行動論」「国際関係論」といった科目も履修すると、理解が深まると思います。</p> <p>【評価方法】 課題レポート（70%）、授業への参加度（30%）</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
40210		認知心理学	2	清水 浩	後期	
<p>【達成目標】 認知心理学とは、知覚、記憶、学習、問題解決、思考などの認知機能がどのような仕組みで働いているかを明らかにしようとする心理学の一分野である。</p> <p>【授業内容・方法】 本講では、人間を情報処理システムとみなして、そのしくみを探ろうとする情報処理アプローチの体験的な理解を中心としながら、認知機能を高める手法についても考察する。最新の脳科学の成果についても触れる。</p> <p>【授業計画】 ①認知心理学とはどのような学問か ②人間の認知を情報处理的にとらえる ③心理学実験紹介 ④錯覚 ⑤視覚探索 ⑥視空間イメージ ⑦国や地域のイメージ測定 ⑧作業記憶 ⑨注意の自動性（ストロープ効果） ⑩注意と change blindness ⑪感覚情報貯蔵庫 ⑫短期記憶・長期記憶 ⑬記憶を支える脳の仕組み ⑭顔の表情からの感情理解 ⑮自分の認知特性を知ろう</p> <p>【テキスト】 適宜資料を配布する。</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 ほぼ毎回パソコンを使った体験コーナーがあるので、積極的に参加してください。また、事前に心理学を受講しておくことが望ましいです。結果の整理にエクセルを用いますので、計算やグラフ作成ができるようにしておいてください。</p> <p>【評価方法】 授業への参加度（40%）、課題及びレポート（60%）</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
40310		経済学入門	2	鈴木 久美	前期	教養
<p>【達成目標】 日常生活とミクロ経済学，マクロ経済学の概念の融合を目的とします。 新聞やテレビの経済ニュースを経済理論で説明できるようになることを目的とします。</p> <p>【授業内容・方法】 講義は，講義形式を主体とする。テーマごとに講義を受けた後，確認のために授業内課題を行います。</p> <p>【授業計画】 ①ガイダンス ②経済学概論 ③需要 ④需要曲線 ⑤供給 ⑥供給曲線 ⑦市場均衡 ⑧均衡の変化・確認課題(1) ⑨GDP(1)定義など ⑩GDP(2)名目と実質 ⑪国民所得の決定(1)民間消費 ⑫国民所得の決定(2)投資・政府支出 ⑬国民所得の決定(3)均衡国民所得 ⑭財政乗数・租税乗数 ⑮確認課題(2)・まとめ</p> <p>【テキスト】 必要に応じて授業内で指定します。</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 経済学は，積み上げていくタイプの科目なので毎回の講義をきちんと理解しないと次回の講義が理解できなくなる可能性があります。そのため，復習を厭わない方にお勧めします。数学を利用します。</p> <p>【評価方法】 期末テスト（80%）、確認課題（20%）</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
40320		ファイナンス論	2	鈴木 久美	後期	教養
<p>【達成目標】 将来価値・割引現在価値を利用した住宅ローンや年金等の計算ができるようになること・ポートフォリオの基礎を理解し，株価を計算できるようになることを目的とします。</p> <p>【授業内容・方法】 講義は，座学および経済学ゲーム（株取引）を利用したグループ学習により構成されます。</p> <p>【授業計画】 ①ガイダンス ②単利と複利 ③将来価値と現在価値 ④投資先の選択 ⑤住宅ローン ⑥住宅ローン（つづき）・確認課題 ⑦株取引ゲームのルール説明 ⑧株取引ゲームのルール説明（つづき）・戦略レポート ⑨株取引ゲーム ⑩期待値・分析レポート ⑪リスク ⑫ポートフォリオ（安全資産と危険資産） ⑬ポートフォリオの収益率とリスク ⑭ポートフォリオの収益率とリスク（つづき）・確認課題 ⑮まとめ</p> <p>【テキスト】 参考書：ツヴォイ（2011）『現代ファイナンス論（第二版）』ピアソン</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 将来設計を考えるうえで金銭の計算を抜きにすることはできません。楽しい老後のため，今から勉強しておきましょう。残念ながら，数学を利用します。</p> <p>【評価方法】 期末試験 60%，授業内課題 20%，株取引ゲームおよびそのレポート 20%</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
40330		ファイナンス演習	2	鈴木 久美	前期	
<p>【達成目標】 ファイナンス論で学習したトピックを実際の生活（投資）に応用できるようにすることを目的とします。</p> <p>【授業内容・方法】 ファイナンス論で学んだポートフォリオ理論の応用を講義前半で講義し、それを利用したコンピュータ演習（投資）を講義後半に行います。</p> <p>【授業計画】 ①ガイダンス ②金融市場（資本市場） ③株式と債券 ④チャート ⑤四季報(1) ⑥四季報(2) ⑦四季報(3) ⑧四季報(4) ⑨四季報(5) ⑩四季報(6) ⑪日経平均等 ⑫投資結果報告 ⑬投資結果分析(1) ⑭投資結果分析(2) ⑮まとめ</p> <p>【テキスト】 必要に応じて授業内で紹介します。</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 ファイナンス論でのポートフォリオの収益率とリスクの関係について理解できていることを前提に講義を行います。数学の予備知識があると講義の理解が容易になります。</p> <p>【評価方法】 最終的な投資結果（演習の成果）（100%）</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
40340		簿記会計演習	4	平野 智久	前期	
<p>【達成目標】 現代社会における企業の役割はきわめて重要です。企業の経済活動を二面的に捉え、確固とした規則にもとづき、組織的に記録する体系を「複式簿記」といいます。本講義では、日常的な記録から損益計算書や貸借対照表の作成に至る過程を学習します。そして、実際に作成した財務諸表をどのように読み取るか、といった学習をとおして、社会人としての基盤を身につけます。</p> <p>【授業内容・方法】 下記テキストと配布資料により講義します。適宜、「確認テスト」を実施します。</p> <p>【授業計画】 (1)簿記の意義と会計の目的 (2)仕訳 (3)商品売買 (4-5)現金・預金および手形 (6-7)債権と債務 (8)有価証券、固定資産 (9)税金、引出金 (10)訂正仕訳、試算表 (11)伝票 (12-13)決算整理、精算表、損益計算書と貸借対照表の作成 (14-15)財務諸表の分析</p> <p>【テキスト】 初回講義までに以下をご用意ください。 滝澤ななみ（2016）『スッキリわかる 日商簿記3級』（第7版）TAC 出版。</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 この科目は初学者を対象としています（全商簿記2級以上の取得者には他の科目の履修を勧めます）。4-5限のため1日の進度は速く、自宅での復習は長い時間を要します。「一夜漬け」の学習では単位を修得できません。積極的に取り組んでいる学生には時間外での質問にも応じます（予約制）。</p> <p>【評価方法】 学期末の試験結果にもとづいて評価します。「確認テスト」の結果は、適宜、これに加算します。</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
40350		電子商取引概論	2	董彦文	前期	
<p>【達成目標】 1. 電子商取引（EC）、マネーの店構築と運営基本知識関連法律を理解する。 2. ECの効果的な活用方法・トラブル防止策を学んで、基本教養を身につけてもらう。</p> <p>【授業内容・方法】 消費者と事業者の視点から電子商取引（EC）の基本知識、基本技術および効果的な活用方法などを取り上げて講義する。インターネットの関連情報を活用し、様々な問題の答えを探求することも重視する。</p> <p>【授業計画】 ①商取引と電子商取引 ②電子商取引の特徴 ③電子決済 ④電子マネー ⑤電子商取引と法律 ⑥消費者契約法 ⑦物品販売業とEC ⑧情報提供仲介事業とEC ⑨コンテンツ販売事業、金融業とEC ⑩電子商店の始め方、ネットオークションの利用 ⑪ホスティングサービスの利用と電子モールの出店 ⑫電子商店運営の基本 ⑬電子商店のマーケティング ⑭EC関連の最新話題 ⑮総合演習</p> <p>【テキスト】 必要に応じてプリントを配布する。</p> <p>【受講生へのメッセージ】 教員の説明を聞きながらインターネット上の関連情報を収集し課題を観戦してもらうように授業を進める。難しい専門用語を避けて、より実用的・よりわかり易い授業になるよう工夫していきたい。</p> <p>【評価方法】 毎回授業に提出された課題の答え（60点）とレポートの内容（40点）によって評価する。</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
40360		情報セキュリティ論	2	董彦文	後期	
<p>【達成目標】 1. 一般利用者としての必要最低限なセキュリティ知識を身につけてもらう。 2. ネットワークにおける各種の危険性と脅威を理解のうえ、基本的な対策を習得する。</p> <p>【授業内容・方法】 情報の盗聴、侵入、破壊とウィルス感染などの様々な脅威から身を守るための基本知識、基本対策について講義する。インターネットの情報を活用して問題を解決する能力の養成も重視する。</p> <p>【授業計画】 ①インターネットとその危険性 ②セキュリティの基本 ③盗聴の脅威と対策 ④侵入と改ざんの脅威と対策 ⑤破壊となりすましの脅威と対策 ⑥ウィルスの基本知識 ⑦ウィルス感染防止・駆除対策 ⑧セキュリティ関連法律のしくみ ⑨知的財産権 ⑩コンピュータ犯罪防止法と不正アクセス禁止法 ⑪クラウドサービスとセキュリティ ⑫SNSとセキュリティ ⑬スマートフォンのセキュリティ ⑭セキュリティ関連の最新話題 ⑮総合演習とレポート</p> <p>【テキスト】 必要に応じてプリントを配布する。</p> <p>【受講生へのメッセージ】 教員の説明を聞きながらインターネット上の関連情報を収集し課題を完成してもらうように授業を進める。難しい専門用語を避けて、より実用的・よりわかり易い授業になるよう工夫していきたい。</p> <p>【評価方法】 毎回授業に提出された課題の答え（60点）とレポートの内容（40点）によって評価する。</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
40370		経営学入門	2	松下 幸生	前期	教養
<p>【達成目標】 主たる目標は基礎的な概念を学ぶことであり、準ずる目標は経営者、管理者、労働者、それぞれの多様な捉え方を通じて複眼的思考を養うことである。</p> <p>【授業内容・方法】 講義形式。プリントを配布する。</p> <p>【授業計画】 下記計画は講義のテーマを表すもので、1回に1項目ずつ進むとは限りません。 ①経営学、会社の経営とは何か。②会社はどのように社会に役立っているのか。③会社はどのようにしてモノを売るとは何か(1)。④会社はどのようにしてモノを売るとは何か(2)。⑤会社はどのようにしてモノを造るとは何か。⑥会社は誰が動かしているのか。⑦社員は仕事をどのように分担しているのか。⑧社員はなぜ組織にとどまろうとするのか。⑨事業構造の戦略。⑩経営理論。</p> <p>【テキスト】 ・伊丹敬之・加護野忠男著[2003]『ゼミナール経営学入門(第3版)』, 日本経済新聞出版社。 ・経営能力開発センター編[2006]『経営学検定試験公式テキスト』, 中央経済社。 ・上林憲雄・奥林康司・團泰雄・開本浩矢・森田雅矢・竹内明著[2007]『経験から学ぶ経営学入門』, 有斐閣ブックス。</p> <p>【受講生へのメッセージ(授業評価を踏まえた方針など)】 板書する内容はテキストに準じて進めるために、必ず購入する必要はありません。ただし、半期の入門講義ゆえに、多くの用語が出てきます。配布プリントに記載されている、次回のキーワードは予習しておきましょう。</p> <p>【評価方法】 試験(80%)、講義への参加度(20%)</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
40380		経営情報論	2	松下 幸生	後期	
<p>【達成目標】 「道具としての情報技術の活用」という視座に立ち、組織や経営戦略における情報技術の活用を体系的に習得すること。</p> <p>【授業内容・方法】 レジュメとパワーポイントを使う講義形式。序盤は経営情報論の基礎知識を学び、それ以降は企業において活用されている情報技術の発展の経緯を学ぶ。</p> <p>【授業計画】 下記計画は講義のテーマを表すもので、1回に1項目ずつ進むとは限りません。 ①経営情報論の基礎 ②情報技術の発展 ③製造業における情報通信技術の技術革新 ④ネットワーク・コンピューティング ⑤小売業における情報システムの活用 ⑥経営情報システム的设计・開発 ⑦経営情報システムの管理 ⑧情報技術とビジネス・プロセス革新</p> <p>【テキスト】 遠山暁・村田潔・岸眞理子著[2003]『経営情報論』, 有斐閣アルマ情報処理学会, 「コンピュータ博物館」。</p> <p>【受講生へのメッセージ(授業評価を踏まえた方針など)】 講義は技術的な内容や数式モデルを使わずに、板書と適宜配布する資料によって進めます。板書する内容はテキストに準じて進めるため、必ずしも購入する必要はありません。</p> <p>【評価方法】 試験(80%)、授業への参加度(20%)</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放								
40390		意思決定論	2	松下 幸生	後期									
<p>【達成目標】 序盤は意思決定論の特徴を理解すること、それ以降は講義と演習を通じて意思決定の基本的な技術を高めること。</p> <p>【授業内容・方法】 講義は技術的な内容や数式モデルを使わずに、板書と適宜配布する資料によって進めます。演習課題では、興味のある職業に就くという目標に向けた計画、実施、検討方法を修得するために、授業計画に基づいて課題の難易度を上げていきます。</p> <p>【授業計画】 下記計画は講義のテーマを表すもので、1回に1項目ずつ進むとは限りません。</p> <table border="0"> <tr> <td>①意思決定論とは何か（概要）</td> <td>⑤原因を究明する</td> </tr> <tr> <td>②成功者の意思決定</td> <td>⑥選択して決定する</td> </tr> <tr> <td>③戦略＝ゴールの明確化</td> <td>⑦将来を見通す</td> </tr> <tr> <td>④状況を把握する</td> <td>⑧ゴールを再確認する</td> </tr> </table> <p>【テキスト】 今村栄三郎[2000]『図解 意思決定の技術』、東洋経済新報社 宮川公男[2005]『意思決定論』、中央経済社</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 ほぼ毎回課題を課すために、欠席は極力避けましょう。また、課題間の関連性は深いです。課題提出が滞ると、試験問題を解けなくなることに留意しましょう。目標管理に役立ててください。</p> <p>【評価方法】 試験（80%）、課題（20%）</p>							①意思決定論とは何か（概要）	⑤原因を究明する	②成功者の意思決定	⑥選択して決定する	③戦略＝ゴールの明確化	⑦将来を見通す	④状況を把握する	⑧ゴールを再確認する
①意思決定論とは何か（概要）	⑤原因を究明する													
②成功者の意思決定	⑥選択して決定する													
③戦略＝ゴールの明確化	⑦将来を見通す													
④状況を把握する	⑧ゴールを再確認する													

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
40400		経営情報演習	2	松下 幸生	前期	
<p>【達成目標】 Excel を使って、データの加工や読み取り方、グラフ作成、関数式をより実践的なかたちで身につけること。</p> <p>【授業内容・方法】 序盤に、経営に重きを置くか、情報処理に重きを置くかを多数決によって決定する。そのうえで、重きを置いたテーマに沿った演習に取り組む。</p> <p>【授業計画】 以下の計画は最低限実施する演習内容であり、受講者の要望に応じて追加する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務構造の変化（データの活用） ・小売業における商品管理（ABC分析、顧客管理） ・実践的な関数式の活用 <p>【テキスト】 和田知里[2007]、『Excel ビジネス現場ですぐに使える関数&サンプル 130 選』、秀和システム 適宜プリント、およびファイル(Excel)を配布します。</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 情報処理演習Ⅱの内容を、概ね習得できていること（sum 関数、if 関数、グラフ作成ができること）が望ましい。そのために、予習・復習は必要に応じて取り組むこと。</p> <p>【評価方法】 課題（100%）</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
40510		情報メディア論	2	小池 隆太	前期	教養

【達成目標】

1. メディアの発展について歴史的側面から概観し、必要な知識を習得する。
2. メディアに関する理論的視座から、メディアの技術的特性や文化的・社会的意義を理解する。

【授業内容・方法】

古代の壁画や書物、印刷術、写真・映画、そしてマスメディアやインターネットに至るメディアの発展を歴史的に概観し、メディア論／コミュニケーション論の観点からその特性を講義します。

【授業計画】

- ①「メディア」とは何か ②メディア論の射程 ③記号とコミュニケーション
- ④ことばと文化 ⑤活版印刷術の誕生 ⑥写真・映画という「経験」 ⑦視覚文化とメディア
- ⑧マスコミュニケーションの成立 ⑨マスメディアが構成する「現実」 ⑩メディアと公共圏
- ⑪メディアロジーと三つのメディア圏 ⑫情報化社会とコンピュータ
- ⑬バリアフリーとユニバーサルデザイン ⑭ケータイ文化論 ⑮ソーシャルメディアの時代

【テキスト】

資料プリントを適宜配布します。

【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】

課題レポートを活用した質問・意見交換などを通じて、今日のメディア社会に課せられた諸問題について、皆さんが自分自身で「考える」力を身につけられるように工夫します。

【評価方法】

期末試験（論述式・持込可）70%、授業中の提出課題30%

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
40520		メディア表現法	2	小池 隆太	後期	教養

【達成目標】

1. コンピュータ／マルチメディア表現におけるデジタルデータの意味を理解する。
2. デジタル制作の現場において必要とされる知識を習得する。

【授業内容・方法】

コンピュータを使用したさまざまな表現技術に関して、基礎となる情報表現の理論、データの処理や加工の方法論とその仕組み、具体的な制作のプロセスを講義形式で概観します。

【授業計画】

- ①デジタルデータの形式 ②③④画像と音声の情報処理 ⑤フォントと文字コード
- ⑥⑦タイポグラフィとデザイン ⑧色彩論 ⑨色彩の情報処理 ⑩商業印刷における色彩表現
- ⑪色彩調和と配色 ⑫⑬画面構成／レイアウト／紙の規格と製本
- ⑭デジタル動画編集とアニメーション ⑮デジタル音楽制作

【テキスト】

資料プリントを適宜配布します。

【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】

技術的な知識の解説が主となる講義形式の授業ですが、可能な限り実作品の鑑賞や解説などを混ぜることで、皆さんの関心につながるような授業にします。

【評価方法】

期末試験（持込不可）60%、授業での課題提出40%。

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
40530		コミュニケーション デザイン論	2	小池 隆太	後期	教養
<p>【達成目標】 1. 映像／視覚作品の分析の方法論について理解し、実際に作品分析を行なう。 2. 映像文化とコミュニケーションの文化的・社会的様相について理解する。</p> <p>【授業内容・方法】 映像文化の特性とその変容について思想的観点から講義するとともに、作品の分析のために必要な理論・方法論を理解し、実際の作品分析をワークショップ形式で行ないます。</p> <p>【授業計画】 ①情報デザインとコミュニケーション ②視覚表現の分析手法 ③物語構造論とナラトロジー ④映画／アニメ研究の方法論 ⑤⑥アニメ表現の分析 ⑦⑧映画表現の分析 ⑨交換と贈与の体系 ⑩欲望と流行の構造 ⑪象徴交換とシミュラークル ⑫⑬広告／テレビCMの分析 ⑭⑮ミュージックビデオの分析</p> <p>【テキスト】 資料プリントを適宜配布します。</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 課題提出などを通して理論的／分析的思考を養ってもらうとともに、参加型の授業形式を複数回取り入れ、議論を通じて広く理解を深めてもらおうと考えています。</p> <p>【評価方法】 期末レポート70%、授業中の提出課題30%</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
40540		メディア制作演習	2	小池 隆太	前期	
<p>【達成目標】 1. イラストレーション／ポスターデザイン／エディトリアルデザインの制作技術を習得する 2. 単なる操作技術ではない、表現手段としての技能と方法論を理解する。</p> <p>【授業内容・方法】 Adobe 社の Illustrator・Photoshop を用いたデザインやアート表現を、制作を通して実践的に学びます。毎回の演習課題は実地の制作現場同様のスタイルで進めていきます。</p> <p>【授業計画】 ①ガイダンス ②③Illustrator による描画 ④Photoshop による写真補正の実践と特殊効果 ⑤テキストチャーターの制作 ⑥文字組みの方法論 ⑦ロゴの制作 ⑧レイアウトと構成 ⑨⑩フライヤーの制作 ⑪⑫イラストレーションの技法と制作プロセスについて ⑬作品制作の構想案作成について ⑭⑮最終課題作品の制作</p> <p>【テキスト】 資料プリントを適宜配布します。</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 1年次の「メディア表現法」「グラフィックス演習」の実践演習と捉えてください。自ら考えて表現しようとする意志を要求する授業です。最終的に自由制作課題作品を1点提出してもらいます。</p> <p>【評価方法】 演習課題の提出60%、最終課題作品（提出必須）40%。</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放												
40570		グラフィックス デザイン演習	2	伊豆田 義人	後期													
<p>【達成目標】 目的は、(ア)前期の「グラフィックス演習」で網羅できなかった実践的な事柄を学習すること、(イ)自律的な問題解決能力の向上のための米沢市を題材としたリーフレットを作成することです。 (注意)前期の「グラフィックス演習」を受講していることが望ましい。</p> <p>【授業内容・方法】 課題を作成しながらデジタル画像の活用方法を実践的に学習します。また、プロジェクトを作成する際には、フィールドワーク、(取材)が必要になるので、受講者は、授業の時間の他、調査や制作のための時間を確保しなければならない。</p> <p>【授業計画】</p> <table border="0"> <tr> <td>①ガイダンス。印刷物の基本</td> <td>②ソフトの紹介</td> <td>③文章入力とスタイルの作成</td> </tr> <tr> <td>④画像の挿入・処理</td> <td>⑤パスによる描画</td> <td>⑥表とそのスタイルの作成</td> </tr> <tr> <td>⑦目次と索引の作成</td> <td>⑧出力ファイルとブック</td> <td>⑨まとめの課題</td> </tr> <tr> <td>⑩～⑮プロジェクト</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>【テキスト】 適宜プリントを配布します。</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 プロジェクトでは前期の「グラフィックス演習」で学習した事柄をも含め、学んだことをすべて使うので、学問的な部分のみならず、活用方法への理解を深めることができると思います。</p> <p>【評価方法】 期末課題（40%）、定期課題（40%）、授業への参加度（20%）</p>							①ガイダンス。印刷物の基本	②ソフトの紹介	③文章入力とスタイルの作成	④画像の挿入・処理	⑤パスによる描画	⑥表とそのスタイルの作成	⑦目次と索引の作成	⑧出力ファイルとブック	⑨まとめの課題	⑩～⑮プロジェクト		
①ガイダンス。印刷物の基本	②ソフトの紹介	③文章入力とスタイルの作成																
④画像の挿入・処理	⑤パスによる描画	⑥表とそのスタイルの作成																
⑦目次と索引の作成	⑧出力ファイルとブック	⑨まとめの課題																
⑩～⑮プロジェクト																		

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放															
40580		ウェブデザイン演習	2	伊豆田 義人	後期																
<p>【達成目標】 目的は、(ア)前期の「インターネット演習」で習得したHTML5とCSS3の活用方法を学習すること、(イ)モバイルコンテンツへ発展し、その仕組みを理解することです。 (注意)前期の「インターネット演習」を受講していることが望ましい。</p> <p>【授業内容・方法】 授業での学習を踏まえて、自律的な問題解決能力の向上を目的としたプロジェクトを制作します。つまり、ウェブデザイン・制作スキルの育成を目指します。</p> <p>【授業計画】</p> <table border="0"> <tr> <td>①ソフトの学習</td> <td>②html5とcss3の復習</td> <td>③メニューとナビゲーション</td> </tr> <tr> <td>④サイトのテンプレート</td> <td>⑤まとめの課題</td> <td>⑥モバイルコンテンツの基本</td> </tr> <tr> <td>⑦モバイル用フレームワーク</td> <td>⑧モバイル用レイアウト</td> <td>⑨モバイルサイトの作成</td> </tr> <tr> <td>⑩モバイルサイトのCSS</td> <td>⑪モバイルとジャバスクリプト</td> <td>⑫モバイルとキャンバス</td> </tr> <tr> <td>⑬モバイル用ゲーム作成の基本</td> <td>⑭モバイル用ゲームの基本</td> <td>⑮コンテンツのアプリへの変換</td> </tr> </table> <p>【テキスト】 適宜プリントを配布します。</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 実践的にHTMLとCSSを極めた後、課題を作成しながら私たちの身近なスマホのコンテンツ・サイトの制作に焦点を置いて、モバイルの裏にあるものやその仕組みを理解するので、ぜひ受講してもらいたいです。またモバイルとジャバスクリプトの関係を理解するため、モバイルゲームの基本を確認し、アプリへの変換方法を確認する。</p> <p>【評価方法】 期末課題（40%）、定期課題（40%）、授業への参加度（20%）</p>							①ソフトの学習	②html5とcss3の復習	③メニューとナビゲーション	④サイトのテンプレート	⑤まとめの課題	⑥モバイルコンテンツの基本	⑦モバイル用フレームワーク	⑧モバイル用レイアウト	⑨モバイルサイトの作成	⑩モバイルサイトのCSS	⑪モバイルとジャバスクリプト	⑫モバイルとキャンバス	⑬モバイル用ゲーム作成の基本	⑭モバイル用ゲームの基本	⑮コンテンツのアプリへの変換
①ソフトの学習	②html5とcss3の復習	③メニューとナビゲーション																			
④サイトのテンプレート	⑤まとめの課題	⑥モバイルコンテンツの基本																			
⑦モバイル用フレームワーク	⑧モバイル用レイアウト	⑨モバイルサイトの作成																			
⑩モバイルサイトのCSS	⑪モバイルとジャバスクリプト	⑫モバイルとキャンバス																			
⑬モバイル用ゲーム作成の基本	⑭モバイル用ゲームの基本	⑮コンテンツのアプリへの変換																			

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
40590		データベース概論	2	西川 友子	後期	
<p>【達成目標】 1. 販売会社の顧客情報など、ICT 社会の根幹を担うデータベースの基礎的な事項を理解します。 2. PC で表計算ソフトの簡易データベースから始め、社会で業務に必要なスキルを身に付けます。</p> <p>【授業内容・方法】 データベースは難しい概念がありますので、講義(基礎知識の解説)ばかりではなく、実際にパソコンを使って実習を行うことにより、基礎的な知識や技術の確実な定着を図ります。</p> <p>【授業計画】 ①ガイダンス ⑤データベース管理システム ⑨～⑩簡易データベース(実習) ②データベースとは ⑥関係データベースの演算 ⑪～⑭データベースの基礎技術(実習) ③データベースの基礎知識 ⑦データベース設計基礎(E-R 図) ⑮まとめ ④データベースの構成 ⑧データベースの SQL</p> <p>【テキスト】 講義で使用する資料は適宜配布します。</p> <p>【受講生へのメッセージ(授業評価を踏まえた方針など)】 難しいところがありますが、基本的なところから丁寧に講義を進めます。しかし情報リテラシーの基礎は習得済みとして講義を行いますので、前期の情報系科目は頑張っておいて下さい。</p> <p>【評価方法】 授業参加態度：20%、授業内課題：50%、期末課題：30%</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
40610		プログラミング演習	4	西川 友子	前期	
<p>【達成目標】 1. プログラミングに必要な問題を解くための手順(アルゴリズム)の組み立て方を理解します。 2. プログラミング言語の文法やそれを記述するための作業の仕方を身に付けます。</p> <p>【授業内容・方法】 プログラムを作成することで、コンピュータで利用できる新しいツールを作り出せます。それには順序立てて正確に作成する必要があります。演習を通して、これらに必要な考え方や技術を習得します。</p> <p>【授業計画】 ①～③ガイダンス、初めてのプログラミング ⑩～⑪条件分岐処理～Select Case 文 ④～⑤計算と入出力～整数・実数の計算と変数 ⑫～⑬画像データの扱い ⑥～⑦処理の選択～IF 文 ⑭まとめ ⑧～⑨処理の選択～少し複雑な選択構造 ⑮期末課題 ※2 時間(2 コマ)分を 1 つとして記述しています。</p> <p>【テキスト】 講義で使用する資料は適宜配布します。</p> <p>【受講生へのメッセージ(授業評価を踏まえた方針など)】 新しい知識や技術の習得は、毎回の授業(演習)を積み重ねていくことにより達成されるものです。授業を欠席しないことはもとより、授業内容を理解し習得できるよう留意して臨んで下さい。</p> <p>【評価方法】 授業参加態度：20%、授業内課題：50%、期末課題：30%</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放															
40620		IT 概論	2	西川 友子	後期																
<p>【達成目標】 1. オフィスツールの演習では学べない情報処理や PC の仕組みについての知識や技術を理解します。 2. 経済産業省の国家資格「IT パスポート」を意識しながら「情報リテラシー」を向上させます。</p> <p>【授業内容・方法】 昨今の ICT 社会を反映して通常の PC 操作はできるものの、トラブルには対応できないなどの不安を持つ者も多いです。これは操作に伴う知識や技術の不足が原因で、講義ではこのコア知識を習得します。</p> <p>【授業計画】</p> <table border="0"> <tr> <td>①ガイダンス</td> <td>⑥アルゴリズムとプログラミング</td> <td>⑪マネジメント</td> </tr> <tr> <td>②セキュリティ</td> <td>⑦システム構成要素</td> <td>⑫企業活動</td> </tr> <tr> <td>③コンピュータ構成要素</td> <td>⑧ネットワーク</td> <td>⑬経営戦略・システム戦略</td> </tr> <tr> <td>④ソフト・ハードウェア</td> <td>⑨システム企画・インターフェース設計</td> <td>⑭法務とビジネスインダストリ</td> </tr> <tr> <td>⑤基礎理論</td> <td>⑩開発技術</td> <td>⑮まとめ</td> </tr> </table> <p>【テキスト】 講義で使用する資料は適宜配布します。</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 解説など口頭での内容が重要である場合も多いので、配布する資料にマーキングしたりノートやメモを取ったりして、講義内容を頭で考え理解するように努めることが重要です。</p> <p>【評価方法】 授業参加態度：20%、期末試験(持ち込み不可)：80%</p>							①ガイダンス	⑥アルゴリズムとプログラミング	⑪マネジメント	②セキュリティ	⑦システム構成要素	⑫企業活動	③コンピュータ構成要素	⑧ネットワーク	⑬経営戦略・システム戦略	④ソフト・ハードウェア	⑨システム企画・インターフェース設計	⑭法務とビジネスインダストリ	⑤基礎理論	⑩開発技術	⑮まとめ
①ガイダンス	⑥アルゴリズムとプログラミング	⑪マネジメント																			
②セキュリティ	⑦システム構成要素	⑫企業活動																			
③コンピュータ構成要素	⑧ネットワーク	⑬経営戦略・システム戦略																			
④ソフト・ハードウェア	⑨システム企画・インターフェース設計	⑭法務とビジネスインダストリ																			
⑤基礎理論	⑩開発技術	⑮まとめ																			

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
40710		基礎ゼミ一	2	中川 恵	後期	
<p>【達成目標】 1. 卒業研究（論文）を執筆するために必要な情報処理能力、専門知識を習得する。 2. ゼミでの研究経過報告をつうじて、関連する社会問題に関心を広げる力を伸長する。</p> <p>【授業内容・方法】 受講生が関心のある課題を報告し、内容についての議論を通じて考察を深める。 「農山漁村と暮らし」に関わる内容、もしくは聞き取り調査に関心を持つ学生を歓迎する。</p> <p>【授業計画】</p> <p>①イントロダクション：アカデミック・ライティングとは ②～⑤「農山漁村と暮らし」に関する文献、もしくは聞き取り調査による文献を要約し、報告する ⑥以降の授業計画は、受講生の人数と研究関心によって決定する。</p> <p>【テキスト】 小田切徳美編『農山村再生に挑む』岩波書店 2,700 円（税別） 森岡清志編『地域の社会学』有斐閣 2,052 円（税別） 関礼子ほか編『環境の社会学』有斐閣 1,900 円（税別） ほか</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 授業は、受講生によるテーマ設定と報告をもとにすすめます。前もって新書や上記のテキストなどに目を通して、テーマについて考えておいてください。</p> <p>【評価方法】 授業への参加度（50%）、授業内報告（50%）</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
40720		基礎ゼミ二	2	亀ヶ谷 雅彦	後期	
<p>【達成目標】 ゼミでの知的・人的交流を通して、専門ゼミでの研究に向けた基礎的な知識やスキルを身につける。</p> <p>【授業内容・方法】 社会心理学や政治学に関する文献講読や、データの統計処理などについて演習形式で指導する。</p> <p>【授業計画】 社会心理学や政治学に関する文献を読んで、担当部分のレジュメをまとめて発表し、学生同士で議論する。また、左記テーマに関するデータの統計処理について演習を行う。なお、具体的な内容は、ゼミ生と話し合っ決めて。</p> <p>【テキスト】 話し合っ決めて。</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 履修希望者は、どんな文献が読みたいか前もって考えておいて下さい。また、鍋やお好み焼き会など行ってゼミ生同志のリレーション作りを進めたいので、これらにも積極的に参加できる方をお待ちします。</p> <p>【評価方法】 授業への参加度（70%）、課題などの提出状況（30%）</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
40730		基礎ゼミ三	2	松下 幸生	後期	
<p>【達成目標】 情報収集の訓練、自らの選択したテーマを整理して聞き手に伝える訓練、及び、パワーポイントを使った資料作成の基礎を修得すること。</p> <p>【授業内容・方法】 序盤は講義形式、及び、受動的に取り組む演習形式をとる。中盤以降は、能動的に取り組む演習形式に切り替える。</p> <p>【授業計画】 パワーポイントの報告は、レポートやレジュメを凝縮させたものである。それゆえに、最初はレポートやレジュメを作成する際の要点、及びパワーポイントの使い方を学ぶ。それ以降は、一定の条件を満たすテーマを主体的に考え、期末報告用のパワーポイント資料の作成をする。なお、「一定の条件を満たす」とは、①複数年に渡る数値化されたデータを入手可能なこと、または、②インターネット検索、書籍、雑誌、報告書などを介して資料を入手できることである。</p> <p>【テキスト】 なし。適宜プリントを配布します。</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 パワーポイントの構成、及び、構成に適う情報収集は興味を持ってないと大変かもしれません。そのために、好きなテーマを各々が決める形式をとります。</p> <p>【評価方法】 パワーポイントを使った期末報告（100%）</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
40740		基礎ゼミ四	2	鈴木 久美	後期	
<p>【達成目標】 2年次の専門ゼミでの卒論作成，就職活動や編優活動に必要な論理的思考や経済学の知識の習得を目的とします。</p> <p>【授業内容・方法】 設定されたテーマについて学生が調べ，考え，報告する形式をとります。</p> <p>【授業計画】 ゼミ参加者の学習履歴・学習目的により変更する可能性があります。 第1回目のゼミの際に使用テキストなど相談します。 テキストを利用する場合は，輪読形式で行います。</p> <p>【テキスト】 参加者の学習履歴に合わせたテキストをゼミ内で指定します。</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 経済学の知識があると株価や為替，景気など，新聞や経済ニュースの理解が容易になります。また，論理的思考ができたり，報告に慣れていたりすると進路選択の幅が広がるはずです。</p> <p>【評価方法】 授業での報告 30%，ディスカッションへの参加度 50%，提出課題 20%。 無断欠席は1回につき10%のマイナス評価。</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
40750		基礎ゼミ五	2	小池 隆太	後期	
<p>【達成目標】 1. 実際の作品分析を通して、記号論や映像論・写真論などの批評理論の基本的枠組を理解します。 2. 作品批評をプレゼンテーションとして発表し、かつコメントする能力を養います。</p> <p>【授業内容・方法】 基本的には毎回2～3人の受講生による作品分析と報告発表を演習形式で行ないます。分析に必要な理論や概念を発表の合間に講義します。</p> <p>【授業計画】 ①ガイダンス ②作品分析の方法論 ③④視覚文化研究の文献購読（1） ⑤⑥⑦⑧受講生による報告発表（1） ⑨⑩視覚文化研究の文献購読（2） ⑪⑫⑬⑭受講生による報告発表（2） ⑮まとめ</p> <p>【テキスト】 資料プリントを適宜配布します。</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 作品の「鑑賞」と作品の「批評」とはまったく似て非なるものです。感性的に与えられたものについて分析的に捉えて考察する「眼」を養っていただければと考えています。</p> <p>【評価方法】 報告発表50%、期末レポート課題50%。</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
40760		基礎ゼミ六	2	伊豆田 義人	後期	教養
<p>【達成目標】 1. 英語の長文を読解できること。 2. 専門的な英文書への理解を深めること。</p> <p>【授業内容・方法】 英語の新聞記事や科学的な文章を読み解く。毎回、みんなで、順番に一文を読んだ後に、和訳をし、意味を説明する。予習できるように、授業の一週間前に文章を配布する。</p> <p>【授業計画】 ① 英語長文 1 ② 英語長文 2 ③ 英語長文 3 ④ 英語長文 4 ⑤ 英語長文 5 ⑥ 英語長文 6 ⑦ 英語長文 7 ⑧ 英語長文 8 ⑨ 英語長文 9 ⑩ 英語長文 10 ⑪ 英語長文 11 ⑫ 英語長文 12 ⑬ 英語長文 13 ⑭ 英語長文 14 ⑮ 英語長文 15</p> <p>【テキスト】 適宜配布する。</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 このゼミでは、英文を順次、文頭から単語を一つ一つ追って、訳するが、英単語を和訳していくだけでなく、常に「だれが」、「なにを」、「いつ」、「どこで」、「どのように」等を口にしながら読み解いていきます。英語の語順は日本語とは異なるので、「片言」的な訳になるが、慣れて「なるほど」と感じてくれれば幸いです。</p> <p>【評価方法】 期末レポート課題（80%）、授業への参加度（20%）</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
40770		基礎ゼミ七	2	西川 友子	後期	
<p>【達成目標】 1. 実社会において必要不可欠な PC ベースの実務遂行能力「情報リテラシー」を養います。 2. 実務に必要な「書く技術」を習得します。</p> <p>【授業内容・方法】 今後のユビキタスコンピューティング社会の到来を控え、改めて「情報」というものを様々な角度から捉え直して、「情報」を利活用するための知識・技術を整理し習得していきたいと考えています。</p> <p>【授業計画】 ① ガイダンス ②～⑤ 「書く技術」をつかむ ⑥～⑨ テーマ 1～3 について、個人ごとにインターネットや図書等を利用して調査を行う。 その結果を相手に伝えるように、レポートにまとめる。最後に発表を行う。 ⑥～⑨ テーマ 4～5 について、各自でテーマ設定を行いインターネットや図書等を利用して調査を行う。その結果を相手に伝えるように、レポートにまとめる。最後に発表を行う。</p> <p>【テキスト】 倉島保美, 論理が伝わる世界標準の「書く技術」「パラグラフ・ライティング入門」, 講談社, (950 円)</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 ゼミは大学の授業の一環ですので勉強する場ですが、「座学」での勉強とは異なり広い意味で様々なことを学ぶ場です。自ら積極的にチャレンジし、主体的にゼミでの活動や学習に参加して下さい。</p> <p>【評価方法】 ゼミ参加態度：20%、テーマ 1～3(レポート・発表)：30%、テーマ 4～5：50%(レポート・発表)</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
40810		専門ゼミ一	4	中川 恵	通年	

【達成目標】

1. 卒業研究（論文）を執筆するために必要な専門知識を習得する。
2. ゼミでの研究経過報告をつうじて、関連する社会問題に関心を広げる力を伸長する。

【授業内容・方法】

受講生が研究経過を報告し、内容についての議論を通じて考察を深める。

「農山漁村と暮らし」に関わる内容、もしくは聞き取り調査を主とした論文執筆に関心を持つ学生を歓迎する。

【授業計画】

- ①イントロダクション：卒業研究提出に向けたゼミ活用方法
- ②～⑤テーマ・章構成（第1案）の報告
- ⑥～⑫文献調査を主とした経過報告
- ⑬～⑮テーマ・章構成（第2案）・夏以降の研究計画報告
- ⑯章構成（第3案）・暫定稿の報告 *⑰以降の授業計画は、研究の進捗状況によって決定する

【テキスト】

各自の研究テーマに必要な書籍を、報告を基に決定する。

【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】

授業は、受講生による報告と議論を軸にすすめる予定です。

卒業研究の質的向上に意欲を持って取り組んでください。進捗状況に応じた指導をします。

【評価方法】

要求水準を満たす卒業論文の提出（100%）

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
40820		専門ゼミ二	4	亀ヶ谷 雅彦	通年	

【達成目標】

ゼミでの知的・人的交流を通して、卒業研究の作成に必要な知識やスキルを身につける。

【授業内容・方法】

各人の卒業研究に関して演習形式で指導し、みんなで論文集をまとめる。各自の研究テーマは自由であるが、政治や社会心理、文化などについての問題意識を持つ学生を歓迎する。

【授業計画】

順番を決めて各自の研究計画や進行状況を発表し、ゼミ生同志で議論する。また、ゼミ旅行を行って見聞を広げる。なお、添削指導のため、卒業研究論文原稿の半分を後期開始時に、完成版を12月末に提出してもらう。過去のゼミ生の研究テーマを知りたい学生は、論文集のバックナンバーを研究室まで見に来てほしい。

【テキスト】

なし

【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】

人間や社会に対する好奇心が旺盛で、ゼミの仲間と一緒に勉強もレクリエーションも真面目に取り組む学生を歓迎します。BBQ・芋煮・吾妻祭・ゼミ旅行と、ゼミ生同志のリレーション作りを大事にするゼミですので、これらに積極的に参加できる方をお待ちします。

【評価方法】

授業への参加度（70%）、課題などの提出状況（30%）

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
40830		専門ゼミ三	4	松下 幸生	通年	
<p>【達成目標】 卒業研究（論文）を完成させるために必要な知識と技術を習得すること。</p> <p>【授業内容・方法】 章節構成を固めるまでは、講義形式、対話形式をとる。研究テーマは、原則として経営学に関わる内容とする。章節構成の固まったあとは、個々の進捗状況に応じて指示をする。なお、情報の整理と章節構成に多くの時間を割く点に留意されたい。</p> <p>【授業計画】 テーマに応じて適宜指示する。なお、前期は主にテーマの絞込み（何を研究したいのか）、資料収集とその理解、章節構成を固めることに時間を割く。後期は執筆作業を中心にしたいと考えている。</p> <p>【テキスト】 各自の研究テーマに必要な書籍を、対話形式で絞り込む。なお、卒論の書き方に関しては、適宜、資料を配布する。</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 要求水準を満たす論文の提出が単位認定の要件です。興味のあるテーマについて多くの書籍を読み、理解を深めていきましょう。また、資料収集に重点を置くために、執筆時間は限られています。個々の進捗状況に応じた指導をしますが、スケジュール管理は個々に任せるので単位を落とさないようにしましょう。</p> <p>【評価方法】 要求水準を満たす卒業論文の提出（期限厳守 100%）</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
40840		専門ゼミ四	4	鈴木 久美	通年	
<p>【達成目標】 自ら選択したテーマにつき卒業研究（論文）を仕上げることを目的とします。</p> <p>【授業内容・方法】 論文作成のために必要な知識や技術の説明を受けた後、個別に作業を行っていただきます。</p> <p>【授業計画】 ①ガイダンス ②テーマ選択方法 ③参考文献検索方法 ④テーマ選択 ⑤テーマ報告 ⑥マインドマップの描き方 ⑦マインドマップ作成 ⑧マインドマップチェック ⑨マインドマップ修正 ⑩文章の書き方 ⑪論文の書き方 ⑫章構成 ⑬章構成チェック ⑭章構成決定 ⑮夏休みの予定作成 ⑯前期＋夏休みの進捗状況報告 ⑰～⑳個別指導 21 初稿提出 22 修正個所の指摘 23～25 個別指導 26 改定稿提出 27 報告用資料作成 28 報告会 29 最終稿作成 30 最終稿提出</p> <p>【テキスト】 マインドマップの描き方および論文の書き方の書籍をゼミ内で指定します。</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 卒業研究では論文を提出していただきます（期限厳守）。研究報告を定期的に行うことで、プレゼンの仕方も学習します。</p> <p>【評価方法】 提出課題 20%、報告 20%、卒業論文（期限内提出）60%。無断欠席は1回につき20%のマイナス評価。締切に遅れた卒業論文の評価はゼロ。</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
40850		専門ゼミ五	4	小池 隆太	通年	
<p>【達成目標】 1. デジタルアート／メディアアートの作品研究を通して、現代の「表現」について理解する。 2. 作品研究によって得た知識を元にデジタルアート／メディアアートの作品制作を行なう。</p> <p>【授業内容・方法】 卒業研究として作品制作ならびに作品研究を行ないます。映像作品制作やデジタル音楽制作、あるいはいわゆるサブカルチャー研究も活動範疇とします。研究と制作の両方を実践的に学びます。</p> <p>【授業計画】 前期 ①ガイダンス ②～⑮文献購読とワークショップ 後期 ①～⑮ゼミ生の作品研究発表と制作作品の報告発表 前期はメディア文化史に関する文献購読、ならびに情報デザインと表現技法についてのワークショップを行ないます。夏期休業中には各人の興味に応じた課題（写真500枚以上あるいはイラスト50枚以上、その他応相談）を課します。後期には各人の卒業制作作品と研究論文について、定期的に報告発表をしてもらいながらその最終的な完成を目指します。</p> <p>【テキスト】 資料プリントを適宜配布します。</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 ワークショップ形式での課題演習や集団制作などを頻繁に取り入れますので、デジタル加工技術の習得、主体性や創造性／想像力は勿論のこと、他の受講生との協調性・協働性も大きく問われます。</p> <p>【評価方法】 作品研究論文50％、制作作品50％。</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
40860		専門ゼミ六	4	伊豆田 義人	通年	
<p>【達成目標】 問題の発掘と解決・取り組み方を身に着けること</p> <p>【授業内容・方法】 卒業研究のための勉強会を開く。また、卒業研究テーマが決まったら、毎回、進捗状況の報告をする。卒業研究の分野は、次のいずれかである。（ア）担当している授業の枠組みで作品を制作する、（イ）調査研究を伴う論文執筆です。</p> <p>【授業計画】 【前期】 （1）勉強会および卒業研究テーマの決定。 （2）卒業研究の開始。 【後期】 （1）作品制作または論文執筆に取り組む。</p> <p>【テキスト】 適宜プリントを配布します。</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 二年間の集大成なので、是非頑張ってください。また、「これだけ是可以る、または熟知したい」という気持ちで卒業研究に取り組んでください。</p> <p>【評価方法】 卒業研究60％、授業への参加度40％</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放																				
40870		専門ゼミ七	4	西川 友子	通年																					
<p>【達成目標】 1. 実社会において必要な「与えられた課題に対して自ら取り組み解決し成果を出す力」を養います。 2. 「情報」に関して卒業研究を行い、PC ベースの実務遂行能力「情報リテラシー」を身に付けます。</p> <p>【授業内容・方法】 卒業研究(課題・製作等)のテーマはこちらでいくつかの案を提示しますが、面談等を行いながら、趣意や嗜好、将来の方向性などを勘案して決定します。このテーマに基づいて作業を進めていきます。</p> <p>【授業計画】</p> <table border="0"> <tr> <td>前期①ガイダンス</td> <td>前期⑬</td> <td>後期③～⑫</td> <td>後期⑭～⑮</td> </tr> <tr> <td>前期②～⑤</td> <td>前期成果の提出</td> <td>作業(研究、製作、調査等)</td> <td>最終成果発表会</td> </tr> <tr> <td>テーマ決定</td> <td></td> <td>後期⑬</td> <td></td> </tr> <tr> <td>前期⑥～⑭</td> <td>後期①～②</td> <td>最終成果の提出</td> <td></td> </tr> <tr> <td>作業(研究、製作、調査等)</td> <td>前期成果発表会</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>【テキスト】 ゼミで使用する資料は、必要に応じて適宜配布します。</p> <p>【受講生へのメッセージ(授業評価を踏まえた方針など)】 専門ゼミでは、卒業研究(課題・製作等)を完成させるためにテーマに積極的にチャレンジし、主体的に取り組む必要があります。適宜、報告・連絡・相談を行いながら進めて下さい。アドバイスします。</p> <p>【評価方法】 ゼミ参加態度：20%、卒業研究(課題、製作)：80%</p>							前期①ガイダンス	前期⑬	後期③～⑫	後期⑭～⑮	前期②～⑤	前期成果の提出	作業(研究、製作、調査等)	最終成果発表会	テーマ決定		後期⑬		前期⑥～⑭	後期①～②	最終成果の提出		作業(研究、製作、調査等)	前期成果発表会		
前期①ガイダンス	前期⑬	後期③～⑫	後期⑭～⑮																							
前期②～⑤	前期成果の提出	作業(研究、製作、調査等)	最終成果発表会																							
テーマ決定		後期⑬																								
前期⑥～⑭	後期①～②	最終成果の提出																								
作業(研究、製作、調査等)	前期成果発表会																									

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
40890		専門ゼミ九	4	清水 浩	通年	
<p>【達成目標】 1. 卒業研究(論文)を作成するために必要な知識と技術を習得する。</p> <p>【授業内容・方法】 1. 人間の心理や発達、教育に関心のある方を希望します。</p> <p>【授業計画】 前期はテーマの絞り込みとそのテーマにかかわる基本的な事項の理解を目指します。当番を決めて、文献や資料をレジュメにし、発表してもらいます。</p> <p>【テキスト】 各自のテーマに即した文献や資料等を指示します。</p> <p>【受講生へのメッセージ(授業評価を踏まえた方針など)】 まず知りたい、調べたいことについて考えておいてください。そして、一度決めたテーマについては簡単にあきらめずに、根気強く調べてください。また、人の前で考えたことを発表したり、議論したりすることは自分を高めることにつながりますので、積極的に取り組んでください。</p> <p>【評価方法】 授業への参加度(40%)、論文等提出物(60%)。</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
40900		専門ゼミ十	4	比留間 浩介	通年	
<p>【達成目標】 卒業研究（論文）の作成に必要な知識やスキルを身に付ける。</p> <p>【授業内容・方法】 スポーツの競技力向上や健康増進のための方法について、動作分析や実験を通して明らかにしていく。前期中に文献収集を通してテーマを決め、実験（または調査）、分析まで行う。後期は執筆作業を中心に進める。</p> <p>【授業計画】 テーマに応じて指示する。</p> <p>【テキスト】 各自のテーマに即した文献や資料を指示します。</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 スポーツや健康について興味があり、科学的な視点から追求してみたい学生を歓迎します。</p> <p>【評価方法】 卒業研究論文（70%）、授業への参加度（30%）</p>						